



「シチズンシップ教育」の意義を考える

1. 現情勢から

これからは、情報化やイノベーションのスピードが加速することなどにより変化が目まぐるしく、先行き不透明な社会が到来と言われていますが、コロナ禍によりすでに、最適解や納得解を手探りで探し出しながら進まなければならないような、先を見通せない時代が前倒しでやって来ています。教育の目的は教育基本法が示すように「人格の完成」ですが、このような情勢のもとで求めていくべき「人格」について改めて考えますと、やはり「未来に向けよりよいふるさとを目指し、協働的に課題解決に取り組む人」という解に辿り着きます。それは一昨年度から本校の学校経営の中心に据えている「シチズンシップ教育」が目指す姿でもあり、コロナ禍による様々な混乱が起きるたびに「大変な時だからこそ、よりよい市民性の醸成が必要」と強く実感します。

2. 社会の状況から

平成27年6月の公職選挙法の改正により選挙権年齢が満18歳以上に引き上げられました。日本の社会は有権者に占める高齢者の割合が高く、高齢者の意見が政治に反映されやすい「シルバーデモクラシー」と言われるバランスの悪い状態にあります。今後も少子高齢化社会が進展する中、若い世代が政治や社会の方向性を決定する過程に参画することができる選挙権年齢や成年年齢の引き下げは、バランスのよい社会を生む契機だと言えます。しかし、これまで行われた国政選挙における10代、20代の若者の投票率は30%程度で、その結果に関心者は頭を抱えています。現在、政治や選挙制度に関する基本的知識等が高校の段階から重点的に学ばれていますが、それだけで、主体的で責任ある投票行動を行える有権者が育つかどうかは現状が答えを示しています。すなわち義務教育の段階から「よりよい市民や主権者づくり」の内容を取り入れた教育課程を、小・中一貫して行い、大人への出発点となる高校教育につながるということが重要且つ急務であると考えます。学習指

導要領総則にある「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」理念に焦点をあてた「よりよい地域社会創りに参画する人材の育成」のための教育プログラムが「シチズンシップ教育」であり、文部科学省主権者教育推進会議の求める方向性とも一致します。

3. 新学習指導要領との関わりから

新学習指導要領の中で目指す人材像として述べられている「持続可能な社会の創り手」の育成という視点からも「シチズンシップ教育・ふるさと教育」の重要性は明白です。「持続可能な社会の創り手」を育てるためには、「ふるさとを愛する心」の醸成を欠かすことはできません。「ふるさとを愛する心」は、そのよさを十分に味わう経験から生まれ、心の中に誇りとして刻まれます。そしてそれは苦しい時に自分を支える大きな心の拠り所となり、「ふるさとに支えられ、ふるさとを支える」地域社会と自己との互惠性の実感につながります。その経験が、地域のために何ができるかを考えたり、遠く離れて暮らすことになってもいつまでもふるさとの応援団でいたりする人間性の素地となり、やがて、未来に向けよりよいふるさとを目指し、協働的に課題解決に取り組む市民の姿につながっていくと考えます。このことから「ふるさとを愛し、ふるさとで生きる」人づくりの教育プログラムが必要であることは明白であり、そのプログラムが

「シチズンシップ教育」です。

以上のような観点を踏まえ、新学習指導要領の目指す方向に到達するための「主体的・対話的で深い学び」の実現と、「シチズンシップ教育」と「ふるさと教育」の2つの側面をもつ「おびひろ市民学」の推進を両輪として、今年度もよりよい市民性の素地をはぐくむ教育を全職員一丸となって展開して参ります。保護者・地域の皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



どうぞよろしくお願ひします～転入職員紹介～

◇教頭 田中 善久

光南小より、教頭として着任致しました。かつて平成25年度から3年間、柏小で勤務しておりました。再び歴史ある柏小の一員となれたことを大変嬉しく思っています。保護者・地域の皆様と手を携えながら、どの子にとっても学びがいある、笑顔あふれる学校づくり尽力していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



◇外国語教育専科 磯谷 麻江

はじめまして。今年度、外国語教育専科として赴任いたしました磯谷麻江と申します。国際理解に興味があり、JICAの教師海外研修でマレーシアなどに行って学んだことを授業にして活動してきました。今年、外国語を教えるにあたり、また一から学んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



◇生活介助員 佐藤ミツイ

4月より若草学級の担当をさせて頂く佐藤ミツイです。生活介助員の1年生です。ご指導をよろしくお願ひ致します。色々なことを一緒に悩み考えて、共に学び成長していけたらと思っています。思いやりと喜び、笑いを大切にしたいです。



◇校務員 大平 伸二

今回の定期異動で啓北小学校来ました大平伸二です。前任校で培った事を生かし、柏小学校では微力ではありますが、児童、先生方がより良い環境で学校生活及び勤務ができるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。



◇校務員 森 建

令和3年4月1日付けで校務として新規採用になりました森 建です。児童の皆さんが、安心・安全に就学できるよう環境を維持していきたいと思っています。不慣れではありますが、児童の皆さんが、明るく健やかに成長できるよう頑張りますので、宜しくお願いします。



◇時間講師 伊藤 保子

つつじが丘小学校から異動してまいりました伊藤保子です。各学級の算数を中心にお手伝いさせていただきます。柏小学校の子どもたちの明るく素直そうな表情に接し、とてもよい気持ちになりました。早く学校に慣れ、楽しく毎日を過ごしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



◇つばさ学級担任 林 繁晴

今年度より、明星小学校から柏小学校に異動で着任しました林繁晴です。つばさ学級の担任となり、毎日にぎやかで、楽しく過ごしています。「日進月歩」をモットーに、日々児童の成長のため、努力していきたいです。どうぞよろしくお願ひします。



◇つばさ学級担任 中村 秀明

歴史と伝統のある柏小で働くことを嬉しく感じています。元気な子どもたちに接して、これからの毎日がとても楽しみです。明るく優しい先生方と保護者の皆様、地域の皆さんと手を組んで、柏っ子たちのために頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



保護者の皆様へ～お願ひ～

□学校を欠席するとき

欠席するときは、必ず、朝のうちに休む理由も含めてご連絡ください。子どもたちの安否が確認できるまで学校から電話がいたり、職員がご自宅を訪ねたりということにつながりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

□車での送迎

事情があって車でお子さんを学校に送迎される際には、校舎正門前及び付近での乗り降りには避けてください。特に、雨降りのときなど駐車している車が並び交通の妨げになったり、ご近所の方にご迷惑をおかけしたりすることになります。ご理解とご協力をお願いいたします。